

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2007-330536(P2007-330536A)

【公開日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2007-050

【出願番号】特願2006-166312(P2006-166312)

【国際特許分類】

A 46 B 7/10 (2006.01)

B 60 S 3/06 (2006.01)

【F I】

A 46 B 7/10 B

B 60 S 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月12日(2009.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあると共に、前記帯板状体は前記多数の纖維が該纖維の長手方向側部において接合された溶着部が形成されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項2】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあり、さらに異材質からなる多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する他の帯板状体が上下方向に積層して形成されてあると共に、積層された帯板状体は溶着部により接合されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項3】

帯板状体の略中央部に前記多数の纖維が接合された溶着部が形成されてあることを特徴とする請求項1及び2に記載のブラシ用毛材。

【請求項4】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあり、前記帯板状体は前記多数の纖維が接合された溶着部が形成されてあり、前記帯板状体とは異材質の多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する他の帯板状体が形成されてあり、前記他の帯板状体は前記帯板状体とは異材質の多数の纖維が接合された溶着部が形成されてあり、前記帯板状体と前記他の帯板状体が積層されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1の発明は、洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の纖維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあると共に、前記帯板状体は前記多数の纖維が該纖維の長手方向側部において接合された溶着部が形成されてあることに特徴を有する。上記構成では、溶着部が形成されることによって、多数の纖維が一体となるので、帯板状体を維持することができ、一つのユニットとして量産することが可能となる。